

附属機関等の会議結果の公開 様式

会議名	令和7年度第3回 愛荘町立図書館協議会会議録（発言要旨）
開催日時	令和8年（2026年）3月4日（水） 午後7時30分～午後9時00分
開催場所	秦荘図書館
出席者	安孫子雅城副会長、大辻登代子委員、辰巳和美委員、辻野ミト子委員、野村仁美委員、西村知子委員、細江雅美委員、水野美里委員
事務局	教育長 徳田寿、図書館長 三浦寛二、図書館参事 小豆畑靖、図書館主任 中川隆輔
傍聴者	0人
議題	<p>(1) 令和7年度行事の報告、図書館利用状況について</p> <p>(2) 愛荘町まちじゅう読書の推進について</p> <p>(3) その他</p>
審議内容	<p>(副会長挨拶)</p> <p>本日はご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。先日、愛知川図書館での講演会「地域が元気になる図書館 愛荘町の図書館のこれからに向けて」に参加しましたが、その中で瀬戸内市の取り組みを発表されていました。住民が参加して図書館を作り上げているという点が特に印象に残っていますが、愛荘町でも住民とともに行う図書館づくりは既に実践されていることだと改めて感じました。そんな先見の明を持った愛荘町の図書館協議会に参加させていただけることに大変誇りを感じています。本日もよりよい愛荘町の図書館づくりのために、様々なご意見をいただき、活気ある会議にしていだければと思います。</p> <p>(教育長挨拶)</p> <p>本日はお忙しい中、本協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。</p> <p>学校現場の教科書について、紙かデジタル、あるいは両方を使っていくことがよいのかというニュースが流れていました。学力や利便性等さまざまな観点から議論がされていましたが、私自身はそれぞれの特徴を活かすことが一番の答えだと思っております。それ以上に今一番の問題と感じているのは、読書離れが進んでいる現状です。教育委員会としては、読書が心や人生を豊かにし、人生100年時代を生きる力を育む営みであることから、まちじゅう読書の条例の精神を具現化していく必要があり、そのための取り組みを進めたいです。図書館協議会委員の皆様にもそうした観点から様々なご意見をいただければ幸いです。</p> <p>(事務局)</p> <p>愛荘町立図書館協議会は、愛荘町立図書館条例および愛荘町立図書館協議会規則により運営されております。この要綱によれば、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」とあり、委員10名のうち</p>

本日のご出席は8名であり、会議が成立しております。

本日、会長がご欠席のため、議事進行を副会長にお願いします。

(副会長)

それでは議案1、令和7年度行事の報告と図書館の利用状況について事務局よりお願いします。

(事務局)

愛知川図書館では、第2期工事から入館エリアを大幅に制限して工事を行っています。現在行っている第3期工事では通常の入口からではなく、公園の方に回っていただいた場所に入口と仮の図書館カウンターを作っています。工事の影響があり、11月と12月は前年度より貸出冊数が減っています。特に雑誌の個人貸出は雑誌書架がいつもよりも狭くなった第2期工事、臨時で雑誌コーナーを設けている第3期工事から貸出が減っています。このことから、雑誌コーナーでゆっくり雑誌を読み、そこでくつろぐ雰囲気がないと貸出につながらないという気づきがありました。また、視聴覚資料は、職員が取りに行く形でしか提供できなかった第2期工事よりも、今までどおり自身で選びながら借りることができる第3期工事から貸出数が回復しました。今回の工事で改めて感じるのは、現在はサブスクリプション等で映画を観たり、音楽を聞いたりする人もいる中で、愛荘町の図書館利用者のAV資料のニーズは依然として高いということです。

また第3期工事から、入口や資料の配置が変わり、動線が変わったことで大活字本や朗読CDといった今まで貸出が少なかった資料を手にする方が増えています。今後入口が元に戻っても、利用の増えた資料を継続して借りていただけるような仕組みを作っていきたいと思っています。

秦荘図書館は愛知川図書館の工事の影響もあり、11月と12月の貸出冊数が増えています。また工事の影響を受けて秦荘図書館を使い始めた方の中には、愛知川図書館の一般書架に入ることができる第3期工事に入っても、秦荘図書館を利用し続けてくださる方もおられます。秦荘図書館は工事での区画制限等もないため、雑誌や視聴覚資料の貸出に変化はありません。

続いて行事の報告ですが、11月を図書館フェスティバルとして両館でマガジンリサイクルや映画会、文部科学省委託事業「経験者に聞く愛荘町で起業 本とお茶の時間」を行いました。映画会では、毎年どちらかの図書館で行っているバリアフリー映画会を秦荘図書館で行いました。1月には、講演会「地域が元気になる図書館 愛荘町の図書館のこれからに向けて」を開催し、図書館協議会委員のみなさんにもご参加いただきました。3月には秦荘図書館で絵本作家の青山友美先生によるワークショップ「ミトンにおえかき」を行う予定です。既に定員に達していますが、見学は可

能ですので、興味のある方はご来館足いただければと思います。

びんてまりの館の行事では、12月にひらやまなみさんの木版画展、2月には恒例の愛知中学校の卒業展を行いました。食品サンプルの展示は、前年度の卒業展を見た現3年生の強い希望で今年も作成されたと聞いています。3月にははしもとみおさんの原画展・彫刻展「絵本の中のいきものたち」を行いますので、こちらにもぜひご来館ください。

(副会長)

今の報告について、何かご意見はありますか。

(委員)

びんてまりの館での団体受入はどのように行っていますか。

(事務局)

びんてまりの館を学芸員やボランティアガイドが解説をしながら案内をするものです。事前予約していただけますし、町内町外問わず受入を行っています。小学校の団体見学も受入を行っており、案内だけでなく調べ学習として質問を受けることもあります。

(委員)

知人から聞いた話で、10月の国スポ・障スポの期間にびんてまり展に団体で見学に行ったときに車椅子が他の方が使用されていて1台しか利用できなかったと聞きました。他の施設にも借りに行かれたそうですが、空いている車椅子がなかったそうです。

(事務局)

愛知川図書館では車椅子を2台用意していますが、現在は工事の関係で図書館とびんてまりの館で1台ずつの配置です。事前に連絡があれば他の施設から借りる等の準備することはできるので、必要な場合は事前にご相談いただくと大変ありがたいです。

(委員)

あそぶっくクラブの活動について、チラシを学校に配ることもありますが、最近では学校でのペーパーレス化が進んでいると聞いています。スマートフォン等のアプリだけでの配信では、親が見せなければ、端末を持たない子どもに情報が届かないのではないのでしょうか。そのため、チラシを配布することは子どもに情報を伝えるために必要不可欠なことだと思います。図書館ではどのように情報発信されていますか。

(事務局)

学校のペーパーレス化は進んでいますが、図書館ではチラシの配布やアプリへの配信と、紙と電子の両方を使って情報発信を行なっています。これはチラシによる広報の効果が依然として大きいからです。申込はカウンターや電話での受付とインターネットからの申込を併用していますが、およそ8割から9割程度がインターネットからのお申し込みです。

(委員)

チラシは気になったものを気軽にとれる良さがあり、図書館でも子どもたちが手に取っている姿をよく見かけます。

(委員)

子どもが学校で使っているタブレットに行事の情報を配信するのもしよいかもかもしれません。

また、図書館行事に参加するためには親の同伴が必要になる場合があります。親に断られると参加できないこともあると思います。住んでいる場所によっては愛知川図書館、秦荘図書館への子どもだけでのアクセスが難しいと感じます。

(事務局)

現在、行事は可能な限り両館分けて開催しており、今後も両館のバランスには配慮しています。

(副会長)

先ほどの報告では、愛知川図書館の工場の影響を深く分析されているように感じました。工事で得た気づきから、今後どのように図書館の棚づくりを行われるのか、その構想を教えてください。

(事務局)

愛知川図書館の工事に合わせて、本の位置を既に動かしているところがあります。本の位置を動かすメリットとしては、今まで目に付きにくかった資料が目に入りやすくなります。デメリットとしては、ヘビーユーザーの方が、今まであった場所に目当ての本を探すことができなくなります。

本の位置の移動には一長一短ありますが、工事をきっかけに人気のある本の棚数を増やし、利用の少ない棚を縮小させていく予定です。

秦荘図書館でも本の位置の移動は行っていますが、図書館協議会委員の方からも棚やミニ展示のテーマ等についてご意見いただければと思っています。

(委員)

秦荘図書館では、片付けとDIYの本が別々の棚に置かれています。同

じ棚に置いてもいいのではないかと思います。

(事務局)

ありがとうございます。こうした意見をいただけると図書館としてもありがたいです。愛荘町の図書館は、一般的な図書館が行なっている分類番号順の並べ方だけではなく、似たような主題の本を近くに並べています。ぜひよりよい図書館の棚作りにもご協力ください。

(副会長)

では、次に議案(2) 愛荘町まちじゅう読書の推進について、事務局からお願いいたします。

(事務局)

愛荘町では、令和7年9月に愛荘町まちじゅう読書の条例が制定されました。愛知川図書館の館内の工事は3月末で終了の予定で、来年度からは外壁等の工事に入ります。来年度からは館内に工事前のように入っていただける予定です。

今年度はその他、文部科学省の委託事業として様々な事業を行いました。特に社会教育委員会の方と一緒にいった愛荘66かまど祭りでの「本の交換会」は、大変盛況でした。来年度も出店を考えていますが、来年度は社会教育委員会の手を離れて図書館主体で組織を運営することになります。そのため、皆様のお力添えもいただきながら進めていくことができれば大変ありがたいです。

(副会長)

今の報告について質問等あればお願いします。

(委員)

社会教育委員会では、愛荘66かまど祭りでの「本の交換会」だけでなく、町内の様々な施設に気軽に本を手にとってもらえる、まちじゅう読書の本棚を設置しました。マップも作成し、町内に全戸配布を行いました。が、あまり活用されていないように感じています。また、社会教育委員会では来年度からは町民企画講座のバックアップをテーマに活動していくことが決まっています。その中で、まちじゅう読書の本棚を巡るスタンプラリーの企画をしていますが、テーマが変わることでまちじゅう読書への関心が薄れていくのではないかと危惧しています。今後は図書館の方をはじめ、図書館協議会の委員のみなさんにもご協力をいただき、まちじゅう読書の取り組みを継続していけたらと思っています。

(事務局)

図書館としてはまちじゅう読書の本棚を設置していただいている各施設に年に数回伺い、現状の把握を行う予定です。どのように本棚を活用していただくかは各施設の方に任せています。若い世代の中には、家に活字がない家庭もあると聞いています。まちじゅう読書の本棚を整備することで活字に触れる機会を増やしていくことは図書館としても重要なことであると考えています。

(委員)

まちじゅう読書の取り組みにも関連することで、私が所属するボランティア団体の月のくまさんの小学校への読み聞かせが、授業時間の短縮の影響もあり、今までのように午前中に行くことが難しくなっています。そのため、午後に読み聞かせに行くこととなりますが、メンバーの中には午後に都合がつかない人も多く、読み聞かせを子どもたちは楽しみに待っていますが、行きたくてもいけない状況になりつつあります。学校も変わり目を向かえているのは理解していますが、月のくまさんのメンバーの中でも戸惑いが大きいです。

(事務局)

月のくまさんの読み聞かせは、子どもたちも楽しみにしているまちじゅう読書の大きな取り組みのひとつです。一方で、学校も時代に併せて変化しており、どのような形がよいのか改めて学校にも尋ねてみます。

(委員)

学校図書指導員は学校で読み聞かせを行っていますか。

(事務局)

学校にもよりますが、昼休みなどを利用して読み聞かせを行っている学校もあります。その他、図書館の職員と一緒に読み聞かせやビブリオバトルを行うこともあります。

(委員)

愛荘町の社会福祉協議会のLINEを見る機会があり、広報が上手だと感じています。図書館でもLINEやSNSを使って広報ができればよいのではないかと感じています。

(委員)

図書館や教育委員会以外で図書館のことやまちじゅう読書の取り組みを発信する窓口が増えるとよいのではないかと思います。そのためにSNSでの発信の方法について、講座を開くというのも面白いのではないのでしょうか。発信者が増えれば、まちじゅう読書の取り組みを多く発信してい

けるのではないかと感じます。

(委員)

SNS で検索する際のキーワードとして、「#まちじゅう読書」等の言葉を発信するときに入力しておくことで検索しやすくなると思います。SNS を上手く活用することができれば、それを使っている若い人の力を自然に借りる形で情報発信ができるかもしれません。

(委員)

情報発信の方法については、地域おこし協力隊の人たちの力を借りることができるかもしれません。

(事務局)

地域おこし協力隊のみなさんは、情報発信に精通されており、よいアイデアが頂けると思います。今のお話を聞き、SNS がまちじゅう読書を広げるきっかけになり得ると感じました。まずは職員が慣れる必要がありますが、SNS の活用方法についても、今後も多くの意見をいただけると大変ありがたいです。

(委員)

若者の活字離れということを最近よく耳にしますが、本当にそうなのかと思うことがあります。実際に自分の子どもは受験勉強の息抜きに本を読んでいたし、スマートフォンの使用等のデジタルに疲れている人たちは多く、本やそれ以外のアナログなものを欲しているのではないかと感じています。活字離れと決めつけるのではなく、若い人たちに活字の良さを伝え、関わり続けていくことが重要だと思います。愛荘町は図書館で様々な行事を開催されており、図書館が身近に感じられる町であると思うので、今後も行事等を通してまちじゅう読書が推進されればよいと思います。

(副会長)

次に事務局からお願いいたします。

(事務局)

図書館協議会委員の任期は2年であり、令和8年3月31日付の任期をもちまして、今期は満了となります。来年度の第一回の協議会の開催日は、4月以降に改めて通知いたします。

(副会長挨拶)

今回は SNS の活用を中心に活メディアの意見がよく出たと思います。今はアナログもデジタルもどちらも活用する能力が必要な時代です。また

	<p>現代は情報が多く、スマートフォンを使用することで多くの情報を瞬時に手に入れたいと思う人たちが多く時代でもあると感じています。本日の会議を通して、そうした人たちに届く新しいサービスにチャレンジする精神を持ち合わせていかなければならないと強く感じました。本日はこれで終了します。ありがとうございました。</p>
問い合わせ先	愛知川図書館 連絡先 0749-42-4114